

一時保育の利用実態とあいプラン・ニーズ調査について

＜一時保育の予約後のキャンセルに関するアンケート結果から＞

(一時保育実施保育園対象 平成22年6月18日実施)

1. 平成22年3月～5月の3か月間(合計)におけるキャンセルの理由と件数(利用区分別)

(※有効回答のみ集計)

	A利用	B利用	合計	%
①預ける理由がなくなった (仕事が休みになった、用事がなくなったなど)	193件	71件	264件	40%
②他の預け先ができた	85件	18件	103件	15%
③児童の病気	149件	91件	240件	36%
④無断キャンセル	5件	12件	17件	2%
⑤その他	26件	18件	44件	7%
合計	458件	210件	668件	100%

・理由や件数を把握していない場合に、各園の受ける印象

- ・児童の病気 6～7割 仕事が休みになった 1割程度
- ・児童の病気 8割 預ける理由がなくなった 2割
- ・児童の病気 5割 預ける理由がなくなった 5割
- ・児童の病気 7割 預ける理由がなくなった 1割 他の預け先ができた 2割

〔A利用: 保育できない理由がある場合に利用(保護者の就労や、入院・通院等)〕

〔B利用: リフレッシュの場合に利用(育児疲れのリフレッシュ目的等)〕

2. 予約キャンセルの現状や問題点

- ・当日の児童の病気や、保護者の用事がなくなった等によるキャンセルが多いため、予約は一杯となっているが、実際の利用人数が減ってしまうことが多い。(1件)
- ・保育園の入所申込が不承諾だった時のためや、仕事の出勤日の決定前に予約を入れるが、実際には入所の決定や、勤務日の変更によるキャンセルが多い等、とりあえずの予約が多い。(4件)
- ・キャンセル料が発生しないため、安易な予約、キャンセルが多いと感じる。(2件)
- ・特に無し。(3件)

3. 利用者数が減少傾向にある現状や問題点

- ・実施園が増え、利用者が分散され、数年前と比べて予約・利用者が減った。
- ・登録者数は減ったが、A利用での利用が多く、延べ利用者数は増えている。
- ・A利用よりもB利用の申込みが多いため、延べ利用者数は減少傾向にある。
- ・利用日数に制限があるため、月9日ではまかないきれない日数で働いている人は利用できない。
- ・毎日の利用数(予約数)は定員一杯となっているが、キャンセルが多く、キャンセル待ちをすすめても断られるため、日々少ない人数での保育となってしまう。

<「次世代育成支援行動計画(後期計画)策定のためのニーズ調査報告書」から>

一時預かり(一時保育)に関する設問

<設問内容>

この1年間で、私用(買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など)やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたこと(親族に預けた、或いは一時保育を利用した等)はありましたか。
①預けた理由と②それぞれの日数(年間)をお答えください(半日程度も1日としてカウントしてください)。また、③今後の一時保育の利用希望、④一時保育の希望利用日数(月間)を記入してください。

<集計結果>

○この1年間での子どもの一時預かり(一時保育)の経験については、「そのようなことはなかった」が52.1%で最も多く、次いで「私用(買物、習い事等)リフレッシュ目的」29.1%、「冠婚葬祭、子どもの親の病気」16.8%、「就労」13.1%の順である。

No.	カテゴリ名	n	%
1	私用(買物、習い事等)リフレッシュ目的	284	29.1
2	冠婚葬祭、子どもの親の病気	164	16.8
3	就労	128	13.1
4	そのようなことはなかった	509	52.1
	不明	59	6.0
	全体	977	100.0

○預けた日数としては、「就労」が年間平均65.6日、次いで「私用(買物、習い事等)リフレッシュ目的」9.9日、「冠婚葬祭、子どもの親の病気」5.8日となっている。

○今後の一時保育の利用意向については、「利用したい」が26.2%、「利用するつもりはない」が21.7%で、「利用したい」の方の希望利用日数は月平均5.7日となっている。

No.	カテゴリ名	n	%
1	利用したい	256	26.2
2	利用するつもりはない	212	21.7
	不明	509	52.1
	全体	977	100.0

<分析>

ニーズ調査の結果ではまず、私用やリフレッシュ目的での利用で親族を含めた一時的な預け先のニーズが一番多い。また、就労目的での利用があるにも関わらず月9日の利用という現在の制度では日数が不足していると思われる。いずれにしても、現在の利用状況などから、利用区分や利用日数、あるいは利用時間や利用料金など一時保育実施園と今後検討していきたい。